



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

# プロバスだより

## 第184号

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2011年3月10日発行

編集・発行：情報委員会

### POSITIVE AGING

2010～11年度テーマ 「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します

## 第184回例会

日 時：平成 23 年 2 月 10 日(木) 12:30～14:30

場 所：八王子エルシィ

出席者：61 名 出席率 88%

(会員総数 69 名、休会 0 名)

### 1. 開会 東山例会委員長の司会

#### 2. 会長挨拶

二点申し上げます。一点目は、澤渡幹事から、プラスワンプロジェクトの八王子「宇宙の学校」について要点を絞ってお話をさせていただきますが、今日の日本の繁栄を築き上げて来た、人生の大先輩たるプロバスクラブの会員たちから、未来の日本を担う子どもたちへの伝言として、そして我々が身近に出来る活動として、是非ご理解を賜りたいと思います。

二点目は、学習サロンの開講が間近になってまいりました。地域奉仕委員会を始め、関係者の皆様のお骨折りに感謝申し上げます。最後まで、どうか宜しくお願い致します。

#### 3. ハッピーコイン披露・バースデー報告



杉山会長から、ハッピーコインの披露(詳細:2頁14件)に続き、2月のバースデー報告が行なわれた。

今月は、石田文彦会員1名でした。池田ときえ会員手作りの美しいバースデーカードが贈呈され、石田会員からお礼の挨拶があった。

#### 4. 幹事報告 澤渡幹事

##### I. 2月以降の主要行事

①2月24日より始まる生涯学習サロンは、回数を1回減らしたため最終が5月12日となりました。

②臨時総会：次期役員選任を5月例会日、5月12

日に行います。

③定例総会および懇親会を6月9日に行います。

④臨時総会：前年度決算、新年度予算、新年度事業報告の各案件承認の件。7月14日開催。

⑤市民健康の日、5月15日(日)理事および副委員長が中心で参加をお願い致します。

⑥その他

・横浜プロバスクラブ10周年記念行事

4月8日(金)

・八王子南ロータリークラブ25周年記念行事

4月23日(土)

・行田プロバスクラブ創立記念行事

5月28日(土)

II. 八王子「宇宙の学校」 プラスワン・プロジェクトについて報告いたします。

①八王子プロバスにやり遂げる力があるのか?

この事業はプロバスクラブが単独で行うのではなく、主に八王子市教育委員会、子供科学館と共催で実施し、生徒の募集や会場使用を市側に担当してもらったり、子供たちの工作・実験等の指導は、出来る限り市内に所在する大学に応援を求めたいと考えています。プロバスクラブはその中心的役割として、会議の主催とか、企画・調整・運営などの分野での活動を考えています。

②プロバスクラブ会員の「宇宙の学校」への係り方について

会員の役割は「出来る範囲」で「出来ること」に参加することを基本に致します。この奉仕活動に参加しても良いとお考えの会員の方には、「宇宙の学校」が実施される10月～1月までの4ヶ月間、月1回程度受付や子供の世話役などをお願いするという事でどうかと考えています。

また「宇宙の学校」を企画し、八王子市、協力団体と折衝するため、3名程度の専任担当者を設

けます。また市や協力団体との間に実行組織や運営組織を設けるため、予め担当者をきめ、会議や委員会の都度参加することになりますが、あまり負担を掛けてはいけないと考えています。

### ③他の事業に使う金銭的余裕はない

クラブの一般会計には一切手をつけないことを基本とします。また、企業や個人に働きかける八王子「宇宙の学校」後援会のような組織を作ることを想定しています。

プロバスクラブの会員の皆さんにも、後援会に入って頂き、支援をお願い致します。これも参加、不参加は自由で「出来る範囲」で「出来ること」ということを基本理念とします。

既に行われている他地域の例からみて、経費は大きな事業の割には比較的掛らないとの見通しを持っています。

④今後八王子市や協力団体及び個人との面談や説明、折衝等が頻繁に行われることを考慮して、今までのプロジェクトチームを解散し、八王子「宇宙の学校」開設準備室の発足を2月の理事会で承認を頂きました。準備室長には下山邦夫前会長が就任します。どうかご理解のうえ、ご支援の程お願いいたします。

## 5. 委員会報告

### (1)例会委員会 東山委員長

出席状況報告（前記のとおり。）

### (2)情報委員会 吉田委員長

・「プロバスだより第183号」をお届けします。本月号の編集は、前年度に情報副委員長をされた阿部和也会員です。

・本日お配りしました会報1ページの河合和郎会員の会員番号に誤りがありました。125を124と訂正願います。

・「プロバスだより」アンケート用紙をまだ提出されていない方は本日提出をお願い致します。来月に集計結果を報告いたします。

### (3)会員委員会 川村委員長

特になし

### (4)研修委員会 土井委員長

ご協力頂きました「知識・経験の調査」の「まとめ」が出来上がり、協力頂いた方にお配りいたしました。内容に訂正等ございましたら至急ファ

クシミリでお申し出ください。なお、追加される方は遠慮なく登録をお願いいたします。5月中には資料として利用できるようにいたしたいと思っております。

### (5)地域奉仕委員会 下田委員長

・サロンへのお誘いの案内を245通お送りしました。結果一般参加者は133名の申込がありました。大変な盛況でプロバス会員には申込みテーマの移動をお願いする等ご迷惑をおかけいたしました。ご了承をお願いいたします。

### (6)交流担当 山崎理事

特になし

## 6. 同好会報告

(1)お茶の会；3月22日（火）に例会開催。

(2)ゴルフ同好会；4月12日（火）にコンペ。

(3)歴史の会；特になし

(4)写真の会；特になし

(5)囲碁の会；特になし

(6)麻雀クラブ；田中美代子さん退会。

## 8. その他報告

久野会員より「睡眠障害12の指針」という資料の配布があった。今後も健康に資する資料があった時には適宜配布しますとのこと。

## 9. 卓話

### 体験的教育小論

山形 忠顯



・2年ほど前、直腸がんになり手術をしました。また視力が弱まり障害者の認定を受けて、歩くのも不自由な状況になりました。その後手術で見えるようになり

ました。40年ほど前、シュタイナーに興味を持ち定年後はシュタイナーの研究をと考えていましたが、視覚障害などのこともあり、また40年の間に社会的にシュタイナーの研究が進み研究をあきらめました。

・お配りした資料のように新聞等で子供のいじめによる自殺がいろいろと報道され、原因はなんなのか、八王子の教育委員会はどのように考えているのかと調べました。

・江戸時代の寺小屋から尋常小学校、国民学校へ

と変わってきた教育制度が、いわゆる六・三・三制になりました。同じ敗戦国のドイツでは教育制度ではアメリカなどより先輩であるということと、社会のしくみが教育制度と結びついていたので六・三・三制を取り入れませんでした。ここに来て日本でも独自の教育制度が動き出しました。品川区ではすでに小学校と中学校を一緒にした教育を始め、近いところでは三鷹市などもそのようです。建物もカリキュラムも一緒です。

八王子でも加住、みなみ野、高尾学園、由井の4校が小中一貫校になっています。23年には市内全校で小中一貫教育に移行します。教育基本法が改正され学校・家庭・地域が協働して教育活動を行うとしています。

とりとめのない話になりましたが、是非次の機会を頂いてお話をしたいと思います。

最後に皆さんと「早春賦」を歌って終わりにしたいと思います。

(山形会員の鍵盤ハーモニカの伴奏で「早春賦」を合唱)

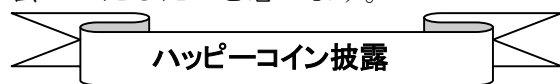
## 10. プロバスソング斉唱

### 11. 閉会の挨拶 佐々木研吾副会長

今歌いました「豊かな知識と経験を」伝えようという活動をこの秋から実行しようとしています。無理の無いよう、かつ有意義に全員で力を合わせて実行したいものです。

また、これから始まる生涯学習サロンも下田委員長をはじめ地域奉仕委員会のご努力で盛会に始まろうとしています。お客様の誘導など積極的に行動をされますようお願いいたします。

本日は山形会員による小中一貫教育や、いじめの問題もプラスワンの活動とも結びつくものと思います。次にお会いする開講式の日には元気な顔でお会いいたしたいと思います。



◆①5月21日結婚50周年 ②医師となって50年 ③中学3年から殆ど同じメンバーで続けている男声コーラス創立60周年記念コンサート(5月22日新宿文化センター) 石田雅巳

◆マメに何回も出来にくいので、こうさせていただきます。自然も世相も気忙しく変化し、何かしら不

安定な現実。そんな中で皆様と一時を同時に過ごさせて頂きます事、感謝致します。

古川純香

◆1月28日に中学校、2月5日に高等学校の同期会に出席し、夢のような楽しい時を過ごしました。

この冬、各地の大雪情報を聞きますと、31年住んだ上越の豪雪を思い出します。その有様を北信越住人の某氏は次のように詠んでいます。「雪五尺 地獄なれども棲みゆかんむ 父祖伝来の郷土(くにつち)なれば」然るに私の心境は次の如くで、真に有難い境涯と思っています。「零下五度なれど快晴 空蒼く 白銀(しろがね)の富士 桑都に笑まふ」 山形忠顯

◆70歳!! “高齢者”と声高に云える様になりました。 武田洋一郎

◆トヨタの電子制御が安全と認められたことに 野口浩平

◆第15回生涯学習サロン開講おめでとう御座居ます。がんばれ下田委員長。 宮崎浩平

◆2年に1度のCT、上部・下部内視鏡で、とりあえず無罪。 Happy !

下山邦夫

◆年賀はがきで2等に当たりました。今年は良い年になりそうです。宝くじでも買ってみようと思います。 河合和郎

◆第15回生涯学習サロン、一話し手として達成感を夢見つつ無事終了を祈っております。

阿部和也

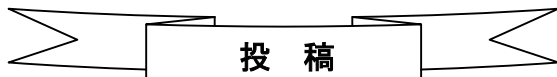
◆新年会の大道芸、玄人はだしの素晴らしいもので、思わず投げ銭をとおもいましたが失礼ですので、ハッピーコインに投げ銭しました。下田さんありがとう 東山 栄

◆先日、後輩の案内で都立多摩総合医療センター(旧都立府中病院敷地内)の薬局を見学してきました。大変広く設備の整った素晴らしい薬局でした。 高取和郎

◆今年も“生涯学習サロン”は絶好調とか。クラブ丸となって皆で楽しみ、皆で盛り上げましょう。 澤渡 進

◆春の訪れが遅い我が家の庭に、いつの間にか白いクリスマスローズの花のつぼみが、よっきり

出現。今年は明るい予感。 澤渡 進  
◆本日の例会での山形会員の卓話を楽しみにしております。 杉山友一



## 百貨店の衰退

米林 伸恭



バブル崩壊後百貨店は構造不況業種の仲間入りをした。この間売上高は毎年前年割れとなり、今や7兆円を割り、ピーク時の50%近くまで売り上げを落としている。

コンビニエンス・ストアやネット販売と肩を並べるところまで落ち込み小売業界の指標銘柄から外れようとしている。

この3年間をみても、実に25店舗が閉店している。直近では三越池袋、西武有楽町、阪急京都四条河原町店、等々である。

わが八王子をみても、昭和40年代に大丸、伊勢丹、西武と大手百貨店の出店が続いたが何れも撤退し、現在はそごう一店のみ営業を続けている状態である。人口55万人の八王子は、その規模に比較して小売販売額は少ない。東京のベッドタウンであり、都内通勤者が多いとか周辺に競合する都市があるとか、いろいろいわれるが、この問題については次の機会に述べたいと思う。

この百貨店の衰退の要因としては、その一つとして、ネット通販、コンビニ、専門大店の急拡大が挙げられる。特にネット通販は、あらゆるブランド品を揃えていると共に価格も安価で、その利便性と客層の広さで、百貨店を凌駕することは間違いない。また、コンビニの存在も大きい。一見百貨店と競合するアイテムはないように思われがちだが、その利便性とATM、公共料金の支払等、もの以外のサービス機能を持ち、特に若者に支持されていると同時に、近頃は高齢者にも支持されてきている。

また、ユニクロを頂点とした専門大店の出現も大きい。特に低価格で、ファッション性の高い商品展開は、ヤング層のみならず、中高齢者にも支持され、しかも、男女関係なく幅広い客層を獲得し、

今や百貨店にも出現し、カジュアル衣料の中心的存在となっている。また銀座松坂屋の「フォーエバー」の導入、心齋橋大丸の各ショップの個性を活かしたコーナー「うふふガールズ」の展開等々、百貨店は不動産賃貸業の様相を呈してきている。

二つ目は、百貨店は長い間同質化競争をしてきた経緯がある。同質化の場合、規模の大きさ、つまり売り場面積の大きい店が、品揃えが豊富になり、競争に勝つのは当然である。その結果店舗の大型化、好立地を求めての開発競争の結果が高コスト体質の一因を生み出し、その後の経営を圧迫する要因となった。百貨店が装置産業と言われる所以である。この同質化は消費者からみると、どこの百貨店も同じような商品で溢れ、しかも価格も同一、他店との差別化も見られない。消費者(生活者)のニーズの多様化に百貨店側は気付いていたが、有効な対応が取れない状態が長く続いた。一方この間日本経済は長期にわたって低迷、進行する高齢化社会、非正規社員を中心とするリストラ等々、企業収益の低迷、消費マインドの冷え込みが百貨店の販売に大きく影響を及ぼした。

このような厳しい環境の中で、注目すべきは大手百貨店のリニューアルが相次いでいる点である。百貨店の復権をかけたこのリニューアル、銀座三越が昨年9月にオープン。売り場面積は従来の1.5倍、投資額450億円といわれる大型投資である。

従来の問屋任せのマーチャンダイジングから、自主編集売場と称して、自社の企画、開発商品の売場を30%まで増やし顧客目線の売場づくりを目指した。

また西部池袋のPBアイテムの拡大によるマーチャンダイジングの転換等、各百貨店とも生き残りをかけた店づくりを目指している。

この様な生き残りをかけた百貨店の戦略が、今後どうなっていくのか興味津々である。

編集後記:たくさんの寄稿を寄せていただいておりますが紙面の都合で次号に譲らざるを得なかったのが残念です。これに懲りず寄稿をお願いいたします。 八木啓充